

# 鯖江市地域公共交通網形成計画

平成 28 年 12 月

鯖 江 市



## 目 次

はじめに .....	1
1. 計画の背景と目的 .....	1
2. 計画の位置づけ .....	2
<b>第1章 鯖江市および公共交通の現況 .....</b>	<b>3</b>
1. 鯖江市の現況 .....	3
2. 公共交通の現況 .....	20
<b>第2章 市民意向の把握 .....</b>	<b>39</b>
1. 市民アンケート調査の概要 .....	39
2. 高校生通学ルート調査の概要 .....	42
3. 関係団体等ヒアリング調査の概要 .....	45
<b>第3章 地域公共交通網の問題・課題 .....</b>	<b>47</b>
<b>第4章 地域公共交通網形成計画 .....</b>	<b>54</b>
1. 持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針 .....	54
2. 地域公共交通網形成計画の区域 .....	55
3. 地域公共交通網形成計画の期間 .....	55
4. 地域公共交通網形成計画の目標 .....	56
5. 地域公共交通網形成計画の目標を達成するために行う事業 およびその実施主体に関する事項 .....	60
6. 地域公共交通網形成計画の達成状況の評価に関する事項 .....	96
<b>資料編 .....</b>	<b>99</b>



# はじめに

## 1. 計画の背景と目的

### (1) 計画の背景

鯖江市では、平成 34 年度末に予定されている北陸新幹線敦賀開業に向けて、J R 北陸線、福井鉄道福武線等によって構成される幹線交通網の変化に対応するとともに、市民をはじめ、観光、ビジネス等で本市を訪れる人々への移動環境を整備するため、市内のほぼ全域をカバーするコミュニティバス「つつじバス」を中心とする二次交通網の再編が必要不可欠となっています。

本市では、市域が東西に長いことによる東西移動の速達性の確保や、隣接する越前市、越前町との広域的な連携に課題を抱えています。また、つつじバスは、福祉バスの運行内容を基本としてきたことから、運行時間、経路において、通勤通学需要への対応が十分ではありません。

一方、モータリゼーションの進行を主要因として公共交通利用者は減少傾向にあり、地域の生活の足としての公共交通を維持していくには、積極的な利用促進が必要になっています。特に、タクシーについては、景気低迷の要因もありサービスの維持も困難な状況になりつつあります。

このような状況を踏まえ、公共交通の利用環境の向上を図るとともに、まちづくりとの連携による持続可能な公共交通を確保、維持していくことが重要になっています。

### (2) 計画の目的

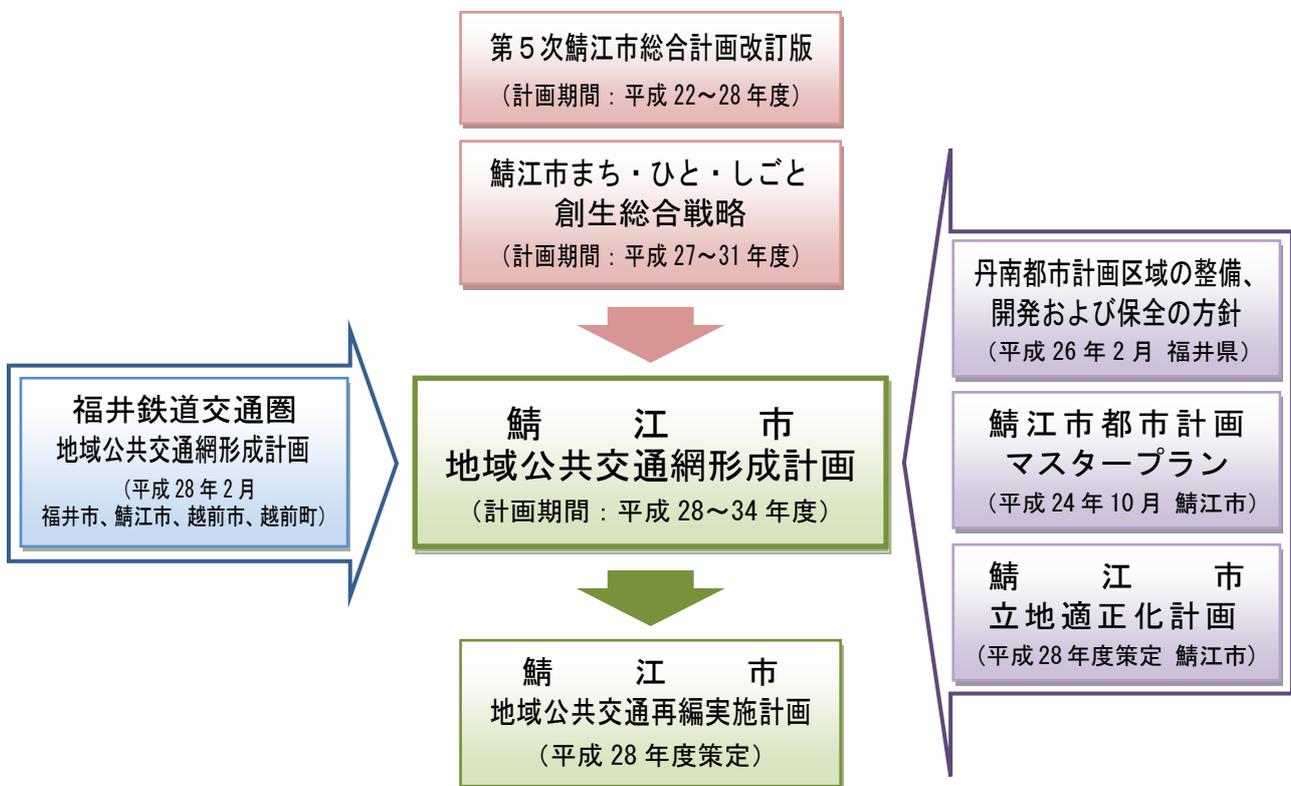
本計画は、計画の背景を踏まえ、市民をはじめ本市への来訪者が、日常生活や観光、ビジネスにおいて、公共交通を利用することで必要な移動を行うことができ、「歩いてどこにでも行ける」交通環境の実現に向けて、地域公共交通の基本方針、目指すべき公共交通網の将来像を示すとともに、その実現のための施策、事業等に関する内容と実施主体を定め、さらに、計画の達成状況の評価に関する事項を定めるものです。

## 2. 計画の位置づけ

鯖江市地域公共交通網形成計画は、「第5次鯖江市総合計画」、「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を上位計画として位置づけ、都市計画分野における「丹南都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「鯖江市都市計画マスタープラン」および、現在策定中の「鯖江市立地適正化計画」と整合の取れたものとして策定しています。

また、公共交通分野においては、鯖江市の幹線交通を形成する福井鉄道福武線の沿線市町を対象とする「福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画」との整合、調整を行うとともに、隣接市町との連携により、広域的な観点を含む計画として策定しています。

平成 28 年度には、本計画に基づいて、具体的な事業の実施に向けて地域公共交通再編実施計画を策定しています。



■鯖江市地域公共交通網形成計画の位置づけ